

【計画の定義】

本計画は、産学官が連携する「奈良県スポーツイノベーション推進本部」において、令和13年度（2031年）に奈良県で開催する第85回国民スポーツ大会を契機に、その先を見据えた持続性のある競技力の底上げを推進することを目標として、「第2期奈良県スポーツ推進計画」も踏まえながら、その具体化に向けたロードマップを示すために策定する。

ロードマップに基づく目標達成に向けた取組を進めることで、県勢の活躍やスポーツ機運の醸成を促進させ、多くの県民やアスリート等の「生活と心の豊かさ(Well-being)」を増進させるだけでなく、本県の未来を支えるこどもたちのスポーツに対する興味や意欲を高めるなど「持続可能で活力ある地域社会の実現」を目指す。

【計画期間】

国民スポーツ大会の奈良県開催年である令和13年度（2031）まで

【取組方針】

I 体制強化

- 奈良県スポーツイノベーション推進本部と各競技団体が互いに協力し、競技力の向上に関する取組体制を強化する。
- 産学官の各分野からも、それぞれの強みを活かしながら、協働して競技力の向上における体制構築を支援する。

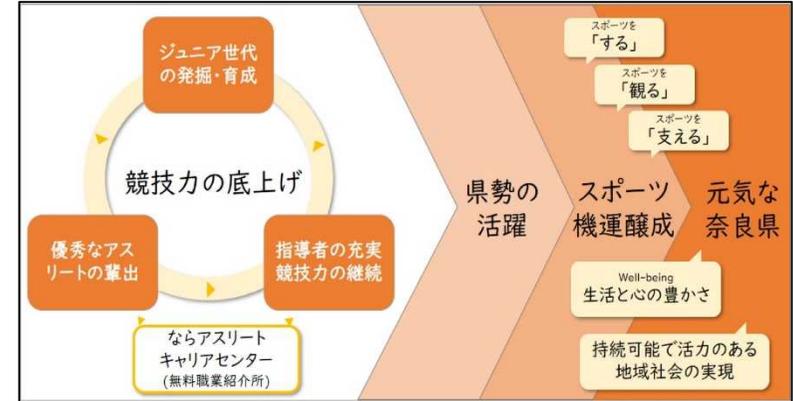
II 選手の発掘育成 / 指導体制の確立

- 将来のスポーツ人材の要となる「ジュニア世代」の発掘・育成を促進しながら、体験会等を通じてマイナー競技も含めた競技の普及啓発に力を入れて総合的に取組を進める。
- 各競技団体を中心として、指導力強化のため有望指導者の養成支援、優秀指導者の招請支援等の取組を促進する。
- 合宿・遠征等の選手強化の諸活動に対し重点的に支援する。

III 環境整備

- 競技に要する特殊用具等の整備支援を継続的に行うことで、切れ目のない競技環境の構築を支援する。
- アスリートが安心して県内で競技を続けられる環境(就職支援、医科学支援、女性の課題支援、デジタル化促進支援等)を産学官と連携しながら着実に構築していく。

【目指すべきビジョン】



【ロードマップ】

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	開催以降
開催まで	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	1年後
方針(視点) \ 区分	育成期		充実期			躍進期		継続期
体制強化	奈良県スポーツイノベーション推進本部の運営・産学官一体支援							
	競技団体のマネジメント力の強化							
体制強化	会場地市町村の競技拠点化							
	競技団体による強化計画の策定・個別ヒアリング等による分析及び支援							
選手の発掘育成	県民の運動習慣等形成支援							
	こどもをはぐくむ運動推進活動							
	未来のトップアスリート発掘育成							
指導体制の確立	競技団体と協働した強化活動							
	こども向けの競技普及活動							
	アスリート県内定着推進(アスリート及び指導者と県内企業との就業マッチング)							
環境整備	指導者の確保・養成・資質向上							
	指導者の資格取得支援							
	各年代の強化担当スタッフの連携強化							
環境整備	選手強化体制の充実							
	競技団体向けアスリート活動支援(指定選手・チームの強化)							
	優秀な指導者等の招請支援等(合宿等への一流指導者の招請等)							
環境整備	競技環境の整備							
	競技用具等の整備に対する支援							
	アスリート県内定着推進(アスリート等と県内企業の就業マッチング)【再掲】							
環境整備	女性アスリートの競技継続支援・医科学プログラムの活用・各種デジタル化促進支援等							
	情報発信の強化							

(具体的な取組内容)

I 体制強化

(1) 体制の強化・充実

①奈良県スポーツイノベーション推進本部の運営・産学官一体支援

【推進体制の維持・運営体制の最適化】

奈良県スポーツイノベーション推進本部委員会、検討部会、勉強会の各会議を運営し、各施策及び強化対策事業の企画・立案・進捗管理等を行います。

本推進計画の進捗状況・成果・課題等に基づき、より実践的な計画に資するため適切なタイミングで見直しを行います。

【産学官連携・協働の推進】

各施策の企画・立案・展開等においては、奈良県スポーツイノベーション推進本部の理念である産学官連携を念頭に置き、企業が持つノウハウや大学等が持つ専門知識や施設をうまく活用することで、より効率的で効果的な事業展開に努めます。

②競技団体のマネジメント力の強化

【競技団体との個別ヒアリングの実施】

奈良県スポーツ協会と協働で、各競技団体に対して国民スポーツ大会における成績等を踏まえた将来を見据えたアスリート強化策等を確認し、当該実施体制に対してアドバイスやフォローアップを行い、各競技団体の組織的なマネジメント力の構築を支援します。

【専門スポーツ指導員の配置】

自身がトップアスリートである専門スポーツ指導員を奈良県スポーツ協会に配置し、県内学校等への指導を通じて競技力の底上げに取り組むだけでなく、各競技団体のフォローアップによる組織強化や指導体制の充実を図ります。

③会場地市町村の競技拠点化

【競技開催市町村における機運醸成】

第85回国民スポーツ大会競技会場の市町村が、競技団体と協働して第85回国民スポーツ大会の機運醸成のために地域住民向けに取り組む競技体験会等に対して支援し、競技PRの機会を増やすだけでなく、競技への理解度を高めることで当該地域の競技拠点化に繋がります。

(2) 目標・事業評価

①競技団体による強化計画の策定・個別ヒアリング等による分析及び支援

【強化事業の検証・個別ヒアリング】

奈良県スポーツ協会と協働し、各競技団体等が行う強化事業の現地調査及び各競技団体の個別ヒアリングを実施し、第85回国民スポーツ大会等に向けた強化対策事業の進捗状況や課題を把握します。

(具体的な取組内容)

Ⅱ 選手の発掘育成／指導体制の確立

(1) 運動のきっかけ創出 **【選手の発掘育成】**

① 県民の運動習慣等形成支援

【運動のきっかけ創出事業の実施】

県民全体のスポーツマインド向上に資するため、運動習慣のない人や運動に興味のない人(無関心層)に対して、ショッピングモール等の人通りの多い場所等を活用し、誰でも参加できる体力チェックイベント等によって、運動を始める動機付けを誘発させ、無関心層から関心層への転換を図ります。

【身近な運動普及啓発事業の実施】

県民全体のスポーツマインド向上に資するため、高齢者等が運動を始めるきっかけとなる運動教室等を開催しにくい過疎地域にスポーツ指導ができる講師を派遣し、市町村が主体となって住民向けの運動教室等を開催することで、住民に対して運動を始める動機付けを誘発させ、地域での取組の定着化と運動習慣の形成を図ります。

② こどもをはぐくむ運動推進活動

【こどもをはぐくむ運動推進事業の実施】

親子で参加できる運動能力測定会、簡単なスポーツの体験イベント等の実施を通じ、主に就学前のこどもが体を動かすことに親しみを覚えられる取組を推進することで、幼少期からの運動習慣の形成や体力向上を図ります。

また、講習会の開催等を通じて、子どもの主要な支援者側である保護者や指導者のフィジカルリテラシーを向上させることで、幼少期からの運動習慣の形成や体力向上の更なる促進を図ります。

(2) 選手の発掘育成・競技普及 **【選手の発掘育成】**

① 未来のトップアスリート発掘育成事業

【未来のトップアスリート発掘育成事業の実施】

スポーツ能力測定会に参加したこどものうち、運動能力の高いゴールデンエイジ(小学3年生～小学6年生)を育成対象者として選抜します。

選抜された育成対象者に対しては、コーディネーショントレーニング等の育成プログラムを実施し、未来の奈良県を担う選手の育成に繋げるだけでなく、個人の能力や特性にマッチする競技種目の紹介に取り組みます。

【プレ育成プログラム事業の実施】

前年度に選抜された育成対象者に対して、次年度に実施される本育成プログラム開始前に、プレ育成プログラムを実施することで、当該事業に対する子どもたちと保護者のモチベーションアップと取組への理解促進を目指します。

(具体的な取組内容)

II 選手の発掘育成／指導体制の確立

②競技団体と協働した強化活動

【県民スポーツ大会の開催】

奈良県スポーツ協会と共催で「県民スポーツ大会」を実施し、幅広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験する機会を提供します。

【トップアスリートとの競技体験会の実施】

各競技団体の強みを活かして各界を代表するトップアスリートを招請し、既に競技に取り組む子どもたちに対して、トップアスリートとふれあうことができる場を提供し、競技に対する姿勢や考え方などの造詣を深めてもらい、将来の奈良県を背負う選手の育成と強化に繋がります。

③子ども向けの競技普及活動

【子どもスポーツフェスティバルの開催】

各競技団体と連携し、スポーツを行っていない子どもを中心に、競技人口が少ない競技を含めた様々な競技が体験できる機会を設け、スポーツの楽しさや競技の面白さ等を実感してもらい、競技普及及び競技人口のすそ野拡大を目指します。

(3) 指導者の確保・養成・資質向上 [指導体制の確立]

①アスリート県内定着推進 (アスリート及び指導者と県内企業との就職マッチング)

【ならアスリートキャリアセンターの運用】

全国及び国際大会等において活躍が期待できるアスリート及び指導者が、県内で競技を継続できる労働環境を整えることで、奈良県への愛着を高め、競技力の底上げにも繋がります。

アスリート等の採用を受け入れる企業や事業所の開拓を進めるとともに、各競技団体等と連携し、県内で働きたい希望を持つアスリート等の情報集約に努めます。

アスリート等の県内企業への就職を支援するため、無料職業紹介所「ならアスリートキャリアセンター」を設置し、専門のアスリートキャリアアドバイザーによるアスリート等と県内企業とのマッチングを行います。

②指導者の資格取得支援

【エリートコーチの育成強化】

第85回国民スポーツ大会等を見据えた継続的な指導者の確保のため、公益財団法人日本スポーツ協会指定の競技種目別指導者資格等、国民スポーツ大会の監督・コーチの基準に基づいた資格取得に要する講座の受講を促進します。

(具体的な取組内容)

Ⅱ 選手の発掘育成／指導体制の確立

(4) 一貫指導体制の確保 **【指導体制の確立】**

①各年代の強化担当スタッフの連携強化

【エリートコーチの育成強化 **【再掲】**】

第85回国民スポーツ大会の奈良県開催に向けて指導者の若返りが急務となっており、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等所属の者の監督・コーチの資格の獲得が可能となったことから、各年代の強化担当スタッフ間の連携等も踏まえながら有資格者数の底上げを図ります。

(5) 選手強化体制の充実 **【指導体制の確立】**

①競技団体向けアスリート活動支援（指定選手・チームの強化）

【指定選手（チーム）の強化】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が実施する県外遠征、県内合宿、日帰り練習等に対する補助を行い、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

【合宿プログラムの充実】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が合宿時に医科学・栄養学等の専門家を招請して行う講習会や勉強会に対して補助することで、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

②優秀な指導者等の招請支援等（合宿等への一流指導者の招請等）

【優秀な指導者及びホームタウントップアスリート等の活用・招請支援】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が全国的に優秀な指導者や審判員、県出身アスリート等を県内合宿へ招請する取組に対して補助を行い、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

【ジュニア世代向け指導者の強化】

各競技団体が全国的に優秀な指導者や審判員、県出身アスリート等の優秀な指導者を招請し、ジュニア世代向けの指導者に指導スキル講習を実施することに対して補助を行うことで指導力強化を図ります。

(具体的な取組内容)

Ⅲ 環境整備

(1) 競技環境の整備

①競技用具等の整備に対する支援

【特殊競技用具の整備・充実に対する支援】

国民スポーツ大会の正式競技で使用する用具において、レギュレーション変更等による大規模な更新や、競技力の底上げへ直接的につながる特殊競技用具の整備等に関して、優先的に整備・充実を図ります。

(2) 支援体制の充実

①アスリート県内定着推進（アスリートと県内企業の就業マッチング） [再掲]

【ならアスリートキャリアセンターの運営[再掲]】

②女性アスリートの競技継続支援・医科学プログラムの活用・各種デジタル化促進支援 等

【女性アスリートの競技継続に関する検討】

女性アスリートが健康にスポーツを継続できる環境を整えるため、スポーツ庁の取組動向等を参考としながら、女性が抱える健康課題等を理解する取組や、医科学サポート等を活用した支援プログラムの活用等を検討します。
また、女性の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性コーチ育成に向けた取組を検討します。

【医科学プログラムを活用したサポート体制の構築に関する検討】

奈良県スポーツ協会と連携し、スポーツ医・科学研究会の開催やスポーツ医・科学に基づいた指導者研修会を通じて、スポーツドクターやアスレティックトレーナー等の養成を支援します。

スポーツ検診やメディカルチェック等を活用し、効率的・効果的な競技力の底上げを図ります。

また、アスレティックトレーナー育成においては、一般社団法人奈良県アスレティックトレーナー協会と協働し、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成カリキュラムに準じたトレーナー養成カリキュラムに基づき、奈良県独自の「奈良県スポーツ協会公認アスレティックトレーナー」の養成を進めることでサポート体制を充実させます。

【各種デジタル化の促進に関する検討】

各競技団体において、選手登録や審判員運用等に係る事務手続等のデジタル化促進に向けた支援のあり方を検討します。

③情報発信の強化

【奈良県スポーツイノベーション推進本部事業の情報発信】

県民の理解を深めるため、推進本部の運営状況や各種事業の実施状況等をホームページへ掲載して情報発信に努めます。